

イベント情報

立命館アジア太平洋大学
2019年10月9日 配信 APUリリース 2019-33



20周年、
世界を変える
物語はつづく。
立命館アジア太平洋大学
2000-2020

Shape your world
APU
Ritsumeikan
Asia Pacific University

開学20周年記念 APU教員による連続講座 in 東京 第2回

多文化社会を生きる！

～「やさしい日本語」というコミュニケーション～

10月25日(金) 19:00～20:30 立命館東京キャンパス (東京駅日本橋口すぐ)

東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー8階

(どなたでもご参加いただけます)

APU開学20周年を記念して、立命館東京キャンパスで2019年9月～2020年1月の毎月1回実施しているAPU教員による連続講座 第2回目のご案内です。9月に行われた第1回目の講義では、出口学長が「歴史とは何か？」をテーマに講義し、約80名が参加しました。

外国人材や訪日観光客の急増、東京五輪の開催などに伴って、異なる母語や文化背景を持つ人と関わる機会が増える中、多言語に頼らず平易な日本語で工夫するコミュニケーションが見直されています。今回の講義では「やさしい日本語」を使った外国人とのコミュニケーションについて、APU言語教育センター長の本田明子教授がわかりやすく解説します。

日 時：2019年10月25日(金)

19:00～20:30 ※18:30 開場

講 師：本田 明子教授 (言語教育センター長)

会 場：立命館東京キャンパス (東京駅日本橋口すぐ)

東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー8階

テーマ：多文化社会を生きる！

～「やさしい日本語」というコミュニケーション～

参加費：無料 (定員70名)

お申込：公式HPよりお申し込みください。 <http://r.apu.jp/20kz>

対 象：どなたでもご参加いただけます。

概 要：「やさしい日本語」ということばをご存じでしょうか。「やさしい」は「易しい」だけではなく「優しい」でもありますが、実は、相手に合わせて自分のことばを調整する高度なコミュニケーション能力です。職場や日々の暮らしのなかで、隣にいる外国人とのコミュニケーションのために、ふだんにげなく使っている日本語を少し見直してみませんか。



本田明子 教授

